

1	会議名	令和2年 第1回教育委員会会議 会議録
2	開催日時	令和2年1月15日(水) 午後2時30分～午後3時7分
3	開催場所	2階 特別会議室
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、竹田 千恵
5	欠席委員	なし
6	会議出席者	教育次長 : 重岡 章夫 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 弘中 勝 周東支所長 : 加藤 勝巳 錦支所長 : 下村 豊 美和支所長 : 角川 博義 教育政策課長 : 三浦 成寿 学校教育課長 : 大谷 弘喜 学校教育課主幹 : 鈴木 芳智 青少年課長 教育センター所長兼務 : 福屋 憲道 文化財保護課長 徴古館館長兼務 : 後 詳子 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 原田 広子 中央図書館長 : 山本 圭子 科学センター館長 : 林 孝造
7	会議従事職員	教育政策課 : 大黒屋 誠、善本 恵美
8	会議録署名委員	西村 宏、廣田 登志子
9	議事日程	
	日程第1	会議録署名委員の指名について
	日程第2	報告第1号 所管事項について
会議の概要	教育長	<ul style="list-style-type: none"> ただいまから令和2年第1回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、西村委員と廣田委員にお願いします。 本日の議題は、日程第2「報告第1号 所管事項について」以上でございます。それでは、日程第2「報告第1号 所管事項について」を議題といたします。これについては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配付しております行事予定表について、補足、または所管事項に関する懸案等がありましたら説明をお願いします。
	学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 机上にチラシを置かせていただきましたが、2月7日に市民文化会館にて「岩国市小中一貫教育ブラッシュアップ研究発表会」が行われる予定です。本年度3回の計画のまとめとなります。全ての中学校区から来年度4月からの小中一貫教育の実施に向けて発表をしていただき、これまで指導していただいた山口大学教育学部教職大学院 教授 池田廣司先生から講評と講演をいただく予定です。
	青少年課・教育センター長	<ul style="list-style-type: none"> 2月15日市民文化会館において「立志の日作文発表大会」が行われます。市内の中学2年生から1,093点の作文が集まり、校内で1次審査を行い、現在16点に絞っています。さらに、1月21日に2次審査を行い、8点に絞ります。そして、2月15日の発表大会において、最優秀作品

<p>生涯学習課・中央公民館長</p>	<p>の審査を行い、表彰します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月12日、シンフォニア岩国にて「令和元年度岩国市成人式」を行いました。新成人1,054人の出席があり、出席率は87.91%でした。今までの反省点を踏まえ、受付をホール入口に3箇所設けましたが、一番手前の受付が混雑する状況となりました。他にも、昨年度までホワイエにあった祝賀コーナーと写真撮影コーナーを企画展示室の帯直しコーナーの隣に変更しました。しかし、呼び込みをしても、なかなかそちらへ新成人が流れませんでした。今述べたような今回の反省点等を次回の改善に生かしていきたいと考えています。なお、昨年度で市民会館の改修は終わっていますが、新成人が市民会館大ホールに入りきれないと予想されるため、来年1月10日予定の成人式も引き続き、シンフォニア岩国での開催を予定しております。 ・2月4日午前11時から市役所6階議会会議室で「令和元年度岩国市社会教育功労賞表彰式」を行います。教育委員の皆様には、御出席をよろしくお願いいたします。 ・中央公民館まつり「輝きフェスタ2020」を開催します。2月16日に舞台発表の部、2月22、23日に展示発表の部を予定しています。この行事は、中央公民館において自主的に生涯学習活動をしておられる団体の方の活動発表の場となっております。舞台発表の部では、岩国中吹奏楽部の演奏や岩国小学校子ども教室などの発表もあります。他に、22日はブラスバンド、23日はミニコンサートやお茶席等も設けております。ぜひ御来場ください
<p>教育長 廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して御意見・御質問がありましたらお願いします。 ・先ほど説明があった1月12日に行われた成人式についてですが、主催者の生涯学習課の方が昨年度の課題を活かしながらPDCAをしっかりと回しておられるなと思いました。 ・東中学校の新校舎ができ、今後旧校舎が解体になるため学校を公開しておりましたので成人式の後に行ってみました。学校公開と言いましても、授業を公開するのではなく、今までのアルバムや学校の沿革史等を校長室で公開しておられました。校長にこの公開をやるようになったきっかけを聞いたところ、地域の方から「新しい学校が建つと今までの思い出がなくなるのが寂しい」という声を受け、今までの資料を展示しようとなったとのことでした。新しい建物が建つと、どうしても思い出が消えていきますが、思い出も大切にしながら新しい希望を持って校舎が新しくなるという趣旨に賛同しました。校長もまさかこんなに人が来るとは思わなかったそうです。2日間で何人来られましたか。
<p>教育長 廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校とも各500人の合計1,000人です。 ・校長室は、人でいっぱいでもう入りきらない状態でした。とても良い試みだなと思いました。

科学センター 長	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一点、科学センターにお伺いします。前回の教育委員会会議の提案にもありましたが、新しいセンターについていろいろ内部で話し合っておられると思うのですが、展示内容やコンセプトなど今話せる範囲でお聞かせ願えたらと思います。 ・前回の教育委員会会議において少し説明させていただきましたが、実験室や工作室を充実させて社会見学を受け入れるなど、科学教育事業を充実させていきたいという意見が出ております。それから、「福祉・交流まちづくり構想」における複合施設の中での整備ということになりますので、例えばデイサービスや支援学校等から社会見学の依頼があった場合、適切に対応できるようユニバーサルデザインにも配慮した運営を目指していきたい。それから、この施設には子育て中の方から高齢者の方までいろいろな世代の方が利用する施設ですので、各世代の交流に繋がるような運営に配慮していきたい。そういうような科学センターにしていこうという目標を抱いて、今検討しているところです。
廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉・交流まちづくり構想」の中に入っていくということですからその狙いと、幼稚園・保育園から高校生などの子供たちも使うことも予想されますので、現場の意見を聞きながら総合的にいろいろな立場から検討していただいて、科学を通じて市民が交流できる場所になるといいなと思いますので、引き続き御検討をよろしくお願いします。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「小中一貫教育ブラッシュアップ研究発表会」についてお聞きします。チラシに「幼児期から、小・中学校9年間を見通し」とありますが、幼・小・中一貫ということですか。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。学校区によっては保育や幼児期に関わる園の関係者の方、高校がある地域は高等学校の関係者に来ていただき、幼と小の繋がりを意識した取組み、小・中の繋がりを意識した取組みなどを発表してもらう予定です。現在、市では0歳から18歳までの広がりを持ちながら「地域協育ネット」を進めています。各中学校区は、12月5日に事前に発表していますが、こういうことにもっと力を入れていこうとか、こういうところが足りないのではないかという反省に基づき、2月7日の発表に向けて仕上げをお願いしております。 <p>また、学校運営協議会を置く学校をコミュニティ・スクールと称しており、県立高校もコミュニティ・スクール設置率をほぼ100%に近い状態を目指し、動いています。ただ幼保はまだまだ設置には至っていませんが。そういった取組みを知っていただく機会にもなればとチラシへこういう書き方をさせていただきました。</p>
西村委員 学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に関わる人も対象にして、案内を出されるんですか。 ・お知らせはしますが、平日のため幼稚園や保育園の先生方に来ていただくのは難しいので、発表していただくことにはしていません。しかし、例えば、前回の教育委員会会議の際、ここに置かせていただいた小中一

西村委員	<p>貫教育の掲示物を後日図書館や支所などに置かせていただき、いろいろな場所で周知しなくてはならないという認識を持っています。</p>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一点お伺いします。2月の行事報告に、県と市の「学力向上担当者会議」が開催されるとありますよね。年度終わりになってきている今、岩国の学力向上はどういう状況ですか。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の教育民生常任委員会でも議員から「点数を上げないといけない」という御指摘があり、県教委と岩国の県教委の担当と市教委の指導主事・社会教育主事、そして学校に指導巡回している学力向上推進委員や推進リーダーが集まり、対策を話し合いました。市では、各学校に今月中旬から2月初旬にかけて特に学年別にこれまでの取組みと成果や課題の洗い出しを提出してもらい、聞き取りをした上で、4月までに各学校で出来ることややらなくてはいけないことをもう一度洗い出し、「学力向上担当者会議」でお互い確認し合う場を持つ予定です。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・それは市の小中の学力ですか。 ・はい。県や市町は、19市町が持ち寄った各学校のとりまとめの成果と課題を精査し、新年度に向けてできることを学校に提示していく予定です。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・では、もう1月の終わりくらいに大体の目途があって、ということですか。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。校長と研修主任の先生には、各学校の取組みの提出をしてもらっていますが、実際に授業を見学し、小学校の今の課題が解決に向けた動きができていのかどうか話をさせていただき、持ち寄って協議の上、学校に返していこうという計画を立てています。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これから新しい年度に向けて人事が始まりますね。正規教員が不足している場合、臨時採用の先生ということになると思います。全国的にも臨時採用の先生方の不足が言われています。新卒者の数が年々減少し、その上、教員免許取得者も減ってきている。平成21年4月1日から教員免許更新制が導入され、10年に1度更新講習が義務付けられました。教員を御結婚等で退いた後、ゆとりができてからもう一度やろうと思っても更新講習を受けないと期限が切れて免許状が失効してしまうことあり、臨時採用の数が少なくなるのではと思いますが、現状は、毎年臨時採用の先生方は減っているのですか。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。小学校ではフルタイムで担任を持つ臨時採用の先生が減少しています。週10時間程度の決まった教科を教える先生、いわゆる非常勤の方は継続的にいらっしゃいますが、定年を迎えられた方のフルタイムの担任は年齢的にも厳しく、臨時採用で担任をやっていただく先生の不足が問題になっています。中学校では、特に音楽、美術、技術・家庭科の担当の先生は、フルタイムの臨時採用も非常勤の方も人員が厳しい状況なので、2校兼務や3校兼務にしないと厳しい状況です。学校側は、な

	<p>るべく長い時間勤務していただくことが、子供たちの教育上、有効だと考えているため、フルタイムを定数でつけてほしいと要望されています。また、生徒数や児童数の減少によって、非常勤対応をしないといけない学校も増えておりますので、今後、欠員が出ないように努力していきたいと考えております。</p>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> 産休・病休等で非常勤や臨時採用が必要だと思います。長期的な臨時採用の確保は広域でやっていかなければならないのは当然ですが、来年度に向けて余裕はありますか。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 今週末に県教委との協議を予定しており、今、個人の異動調査等も加味しながら人数を精査しているところです。岩国は地域性もあって、どうしても山口県の西部や中央部から新規採用時に来られた方は3年や6年経つと地元に戻ってってしまう方が多く、そういった課題は今後も続くでしょうし、事務職等の一人職も地元採用の方が少なく、課題となっています。欠員が出ないように、県としっかり協議を重ねて4月には万全の体制でスタートを迎えたいと考えております。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> 更新講習等が大きなネックになっていると思います。かつては30代で臨時採用をやってみようという先生方もおられましたが、更新講習を受けてなければ免許失効ですから、教員免許を持っている人自体が少なくなっているという部分で、なかなか人材確保が難しいというのが現状ですね。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> そうですね。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度以降、教育長も県教委にこれまでの経験値に基づいた「特別免許」が認定してもらえるよう要請しているところです。村尾委員が言われたとおり、このままいくと非常に厳しい状況で学校に欠員が出るという事態が生じるかもしれないので、継続して「特別免許」の要請をしていきたいと思っています。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> 臨時免許状の申請も含めて県教委とよく協議をしながら最善の策を取っていただきたいと思います。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> はい。
竹田委員	<ul style="list-style-type: none"> 周東支所にお伺いします。2月9日の「第26回しゅうとう中山湖健康マラソン大会」で、豚汁の炊き出しの応援させていただく予定ですが、エントリーはどれくらいありますか。
周東支所	<ul style="list-style-type: none"> 今現在500名少し超えたくらいです。駆け込みが多いので。
竹田委員	<ul style="list-style-type: none"> 良かったです。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課に成人式についてお伺いします。成人年齢を20歳から18歳へ引き下げるとテレビで報道されていましたが、18歳が成人となつての初めての成人式に何歳の方を対象にするかいろいろな自治体が頭を悩ませているところでした。18歳、19歳、20歳を対象とする自治体が1ヶ所ありました。しかし、会場の都合上3つの世代を一度に行うのは

生涯学習課長	<p>難しいとテレビで見ました。岩国市は、成人が 18 歳になった時どのように行うのでしょうか。いつからになるのですか。検討をされていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年の 4 月から成人が 18 歳になります。今の中学 3 年生が 18 歳で成人を迎えることになります。今の中学 3 年生とその保護者に中学校の協力をいただいてアンケートを取ったところです。1 月 29 日の社会教育委員会会議で、今あるアンケートなどのデータを基にどのようにやっていくかということを経験として上げ、その結果を教育委員会会議にも議題として挙げて決定させていただきたいと思っています。
西村委員 廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。わかりました。 ・ 今、ほとんどの小学校で 10 歳の小学 4 年生を対象に「2 分の 1 成人式」をやっております。成人式が 18 歳になると「2 分の 1 成人式」が 9 歳の小学 3 年生になるのかというその辺の繋がりがありますので、ちょっと含みに入れておいていただけたらと思います。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学センターにお伺いします。12 月はほとんど行事がなかったのですが、4 月以降たくさんの行事があり、来月の 2 月にもかなりの行事が予定されていますね。科学教室や科学クラブなど児童・生徒を対象とした数多くの講座を実施されていますね。募集人数に対して応募状況はどうですか。
科学センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。2 月の行事予定にある「科学教室」というのは、小学 3 年生あるいは 4 年生から 6 年生向けの講座で、「特別科学教室」というのが小学 5・6 年生と中学生を対象とした講座です。それから、「市民科学講座『シイタケ栽培にチャレンジ』」は、基本的には一般の方を対象にしており、幅広い世代を対象にした教室です。小学生を中心とした講座は、応募も多く、人気がありますが、講座によっては定員に満たないものもあります。
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、「小中学生の理科離れ」というのが叫ばれてますが、このような魅力ある講座を勧めることで理科離れを食い止め、それが将来的な日本の発展にも繋がってくるのだと思います。今後、新しい科学センターができた時にも、この講座や最新の科学技術の講座や ICT を使ったいろいろなものを展示することで、子供たちが興味・関心を持ってくれるのではないかと思います。地味でもいいので、子供たちが興味・関心を持つように粘り強い展示をしていただきたいと思いますし、それに関わる予算をまず取ることが必要ですよ。
科学センター長 村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうですね。いろいろ工夫をしながら予算を要求しています。 ・ 予算がつかない限りは、魅力ある講座を開くことを期待できないのではないかと思います。本当に理科離れを招いてしまうと将来的な岩国、日本が危ないと思います。頑張ってください。
科学センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。

教育長	・他にないようでしたら、以上で報告第1号を終わります。
教育長	・本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・次回は、議事日程の下部にも記載しておりますが、2月17日市役所本庁2階特別会議室にて14時から所属長会議を、14時30分から教育委員会会議を開催いたします。なお、所属長会議は青少年課から説明をいただく予定としておりますので、よろしくをお願いします。
教育長	・これもちまして、令和2年第1回岩国市教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 西村 宏

教育委員 廣田 登志子